競技・審判上の注意

［全般的事項］

1．この大会は、令和８年度公益財団法人全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、並びに公認審判員規程により行います。
2．審判は、原則として村山地区高校生が行います。準決勝以上の試合では公認審判員が行います。なお、サービスジャッジは原則としてつけません。
3．プレイヤーは、試合開始予定時刻の１時間前までには会場に到着し、引率者か監督は必ず「受付」を済ませてください。大会本部に「受付」を設置いたしますので、「会場案内図」でご確認ください。
4．競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5．公式練習時間を設けます。プログラム記載の「公式練習コート割」の通りに行ってください。なお、練習用のシャトルは各校で準備してください。
6．競技開始時間は、初日１０時００分からの開会式終了後とします。２日目は、９時００分とします。また、試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。コールには十分注意してください。
7．試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りです。
＜学校対抗＞　学校対抗が連続する時は、２０分とします。
＜個人対抗＞　個人対抗（単・複）が連続する時は、１５分とします。
また、各試合（マッチ）のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが８点になったとき、６０秒を超えないインターバルを認めます。（プレイヤーは２０秒前にはコートに入ること）
○第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間には１２０秒を超えないインターバルを認めます。（プレイヤーは２０秒前にはコートに入ること）
8．今大会のスコアリングは、すべての種目において１５点３ゲームマッチで実施いたします。
9．インターバル時に指示・助言をする場合には次の条件に従ってください。
○インターバルでは、どちらのサイドも２人まで競技区域に入ってきてもよい。これは、エンドを替えた後に入り、主審が「（コート番号）２０秒」とコールしたら、コートから離れるものとする。
○プレイヤーがエンドを替える際、コーチングシートに着席する方も移動し、コーチングシートを使用してください。
10. マッチ中の水分補給、汗ふきなどは主審の許可を得てください。
なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。ラケットやシャトルの交換時、試打は禁止します。
○タオル・ラケット・水分補給用のボトル等は、コートサイドにバッグ等を持ち込んで保管してください。
○容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用してください。
○氷嚢は、コーチ席で保冷バッグなどに入れ保管してください。
○学校対抗の際、ベンチ（シート上）での水分補給を認めます。ただし、必ず蓋付きの容器を使用してください。フロアに直接置くことは禁止とします。万が一シートが濡れた場合は、各校の責任において、直ちに拭き取り、フロア（床）面の保護には万全の注意を払ってください。
11. サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行います。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては、主審が厳正に対処をします。（競技規則第１６条）
○体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせること。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○インターバル時間を超えてもコートにもどらないこと。
○プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
○相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動。
○言葉やジェスチャーでサービスジャッジまたは線審に影響を与えたり、または脅迫しようとすること。
○競技規則を超えた不品行または不愉快な行動。
14. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。
（背面の文字は明確に判読できるものとし、大会運営規程第２４条に沿ったものの着用をお願いします）
15. マッチ（試合）中のけがや病気の場合は、主審が慎重かつ適切に処置しますが、もし必要ならばレフェリーを呼びます。レフェリーは医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。痙攣やねん挫などに使用するスプレーは、インターバル中を除き、マッチ中の使用は認められません。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。判定に対し疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では、「当該プレイヤーと監督」、個人対抗では、「当該プレイヤー」に限ります。

17. コーチングシートについては、２席設けます。
18. コーチ（コーチ席に座る者）は公認審判員規程第５条第１２項にあるマッチにふさわしい服装で臨んでください。またコーチの着衣についても、背面等の条項が適用されます。取り決めに反するユニフォームを着用して競技区域に入ることはできません。
19. 競技フロア内では、監督、コーチ、マネージャー及びプレーヤーの携帯電話、パソコンなどの電子機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源を OFF にしてください。〈公認審判員規程第５条第１２項（５）（６）〉
20. シャトルに回転を加えてから打つ、「スピンサーブ」はフォルトとします。
21. 試合前のウォームアップなどは館内で行わないでください。ジョギング等のために外出する場合は試合開始時間に影響がないよう戻ってください。
22. その他大会本部の指示に準じます。

［学校対抗に関する事項］

１．監督、コーチ、マネージャー、プレイヤーの変更は９時１５分をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。なお、追加は認められません。
２．初回戦のオーダー用紙は、受付で配布する袋に同封してあります。次回戦以降は主審が直接手渡します。
３．オーダー用紙は複写で記入し、自校保存用以外のものを本部席に提出してください。提出する方は、監督、コーチまたはそれに準ずる方とします。（部員は禁止とします。）
４．今大会はオーダー用紙を進行の求めに応じて本部席に提出するものとし、交換は行いません。
初回戦（１１/７）のオーダー用紙の提出を９時３０分とします。
５．定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無いときには「棄権」とします。
６．エントリーをしている競技者（監督１名、コーチ１名、マネージャー１名、プレイヤー５～７名）は、コールがあったら速やかに、試合のあるコートに集合してください。若番の学校が主審の右側とします。
７．ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた競技者のみとします。
８．同一プレイヤーが連続して試合をする場合のインターバルは１０分とします。
９．マッチ（試合）は勝敗決定（３マッチ先取）後、打ち切りとします。

［個人対抗に関する事項］

１．プレイヤーの変更はいかなる場合でも認められません。
２．プレイヤーはコールがあったらコートに集合してください。若番のプレイヤーが主審の右側とします。
３．マッチ直前の練習は、ありません。

〔一般上の注意〕

１．競技会場の開場について、２日間とも８時００分となります。
２．大会会場では、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけ、靴は自分で管理してください。
３．競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止します。但し、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認めます。濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
４．応援席については、占有しないで使用してください。別紙「大会注意事項」に各会場の応援席について記載がありますので、必ずご確認ください。
５．部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示に従って撤去してください。
６．フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
７．ビデオ撮影などを行う際は、観客席からの視界を妨げないよう気を付けて設置してください。
８．各自のホームビデオなどで撮影したものは、マスメディアなどに提供しないようにしてください。
９．ゴミは各自（各チーム）で持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
10. 競技中の疾病・傷害については応急処置のみ主催者で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
11. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
12. 会場内では、指定された場所以外の使用を禁じます。
13. 通路等を占有するような使用は厳に慎んでください。
14. その他会場使用に関しては、大会本部、施設管理者の指示に従ってください。